

令和5年度 設備設計1級建築士 短期合格必勝コース【日曜コース】日程表

既に終了している日程についても、来校のうえ補講での視聴が可能です。詳細は、各校にお問い合わせください。

●設備設計1級建築士 必修項目習得講座 (令和5年) 講習時間 8.0h (法適合確認:4.0h+設計製図4.0h)

回数	日程	時間	科目	項目	学習システム	学習内容・到達目標	添削指導
1	12月下旬より 本講座開講まで 繰り返し学習	1.0h	法適合確認1	空調・換気設備	法適合確認、O×トレーニングをもとに重要ポイントを学習	空調・換気設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	必修項目習得講座での添削指導はありません。
2		1.0h	法適合確認2	給排水衛生設備	各項目の最後に演習テストで、理解度を確認	給排水衛生設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
3		1.0h	法適合確認3	電気設備	演習テスト解説講義で出題のポイントを確認	電気設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
4		1.0h	法適合確認4	輸送設備		輸送設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
5		1.0h	設計製図1	事務所ビルの計画の要点	要点記述トレーニングノート、作図トレーニングノートをもとに、記述、作図のスピードアップのポイントを学習	事務所ビルの各設備の計画の要点を理解する	
6		1.0h	設計製図2	空調・換気設備		系統図、機械室の配置図、平面ダクト図の描き方手順を学習する	
7		1.0h	設計製図3	給排水衛生設備		系統図、便所の平面図の描き方手順を学習する	
8		1.0h	設計製図4	電気設備	記述、作図のワーク	単線結線図、照明設備の平面図の描き方手順を学習する	

●設備設計1級建築士 総合対策講座 (令和5年) 講習時間 48.0h (法適合確認22.0h+設計製図26.0h)

問題集解説講義(法適合確認)

—	修了考査まで繰り返し学習	6.0h	法適合確認	過年度本試験問題	本試験問題を年度ごとに解説	本試験問題の理解度の向上を図る	—
---	--------------	------	-------	----------	---------------	-----------------	---

作図手書き映像(設計製図)

—	修了考査まで繰り返し学習	2.0h	設計製図	各設備※2の系統図(単線結線図)・平面図	実際に本試験形式の図面を作図	実際の作図映像を視聴し、具体的な作図手順・方法を学習する 空調・換気/給排水衛生/電気[選択可]	—
---	--------------	------	------	----------------------	----------------	---	---

7	7/16(日)	4.0h	法適合確認5	答練(空調・換気設備) 答練(給排水衛生設備)	オリジナル答練問題を用いて、項目ごとに問題演習	制限時間を設けて実戦形式で空調・換気設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する 制限時間を設けて実戦形式で給排水衛生設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	答練の添削 +
8	7/23(日)	4.0h	法適合確認6	答練(電気設備) 答練(輸送設備)	解説講義で法適合確認のチェックポイントを整理	制限時間を設けて実戦形式で電気設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する 制限時間を設けて実戦形式で輸送設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	宿題課題の添削
9	7/30(日)	6.0h	設計製図4	答練(課題文の読み取り方法) 答練(必須問題対策)	オリジナル答練問題を用いて問題演習	実戦形式で課題文の読み取り方法を学習する 制限時間を設けて実戦形式で必須問題の答練を行い、答練の解説を通して採点のポイントを理解する	答練の添削 +
10	8/6(日)	6.0h	設計製図5	答練(選択問題対策)※2	解説講義で採点のポイント、計算手順、作図手順を理解	制限時間を設けて実戦形式で選択問題の答練を行い、答練の解説を通して採点のポイントを理解する 空調・換気/給排水衛生/電気[選択可]	宿題課題の添削
11	9/10(日)	10.0h (法適合考査2.0h+解説2.0h) (設計製図考査4.0h+解説2.0h)	法適合確認7 設計製図6	模擬考査2	オリジナル模擬考査を本番と同じ形式で実施 + 解説講義で採点のポイントを最終確認	当年度講習会テキスト、本番と同じ体裁の答案用紙を用いて、本番と同じ時間(法適合確認2時間、設計製図4時間)の中で、時間配分を意識して解答を完成させる 合格レベル(上位)の解答例と自身の解答を比較して、習得できていない部分や理解が不十分な部分を把握し、本番までに克服する	模擬考査の添削 +
12	9/24(日)	10.0h (法適合考査2.0h+解説2.0h) (設計製図考査4.0h+解説2.0h)	法適合確認8 設計製図7	模擬考査3	オリジナル模擬考査を本番と同じ形式で実施 + 解説講義で採点のポイントを最終確認	当年度講習会テキスト、本番と同じ体裁の答案用紙を用いて、本番と同じ時間(法適合確認2時間、設計製図4時間)の中で、時間配分を意識して解答を完成させる 合格レベル(上位)の解答例と自身の解答を比較して、習得できていない部分や理解が不十分な部分を把握し、直前期に確認すべきチェック箇所について最終確認を行う	模擬考査の添削

※1 講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

※2 空調・換気/給排水衛生/電気[選択可]

8月下旬～9月中旬 (連続する3日間)
(公財)建築技術教育普及センター講習受講

10月下旬(予定)
設備設計1級建築士講習 修了考査